

まつぼっくり

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」



宇城市立三角小学校
学校だより 第7号
文責 校長 西村羊治
令和7年5月2日

三角小の沿革

三角町には、以前たくさんの小学校がありました。三角小・戸馳小・三角北小・三角東小・しかし、時は流れ児童数減少の波が訪れました。写真は宇土半島の先端部分を描いたものです。ご覧の通り、今はなき北小・東小・戸馳小が掲載されています。私が20代で宇土市立住吉中学校に勤務していた頃は、今の青海小は青海中学校でした。それから30年あまりが過ぎ、宇城市の合併や小中学校の統廃合が進みました。私は宇城市に勤務するのはトータルで21年目になります。



三角小学校の沿革について少し調べたので、一部を紹介します。約150年前、旧戸馳小学校（明治7年）、旧三角東小学校（明治7年に波多村波多校）、旧三角小学校（明治8年に郡浦小学校本村校）、旧三角北小（明治10年に大田尾小学校）、と多くの小学校が誕生しています。約150年前に全国に小学校が誕生した理由は、明治5年に学制が公布され、その1～5年後に誕生した学校が多いからです。それからさらに年月が過ぎ、平成17年4月に新生「三角小学校」となりました。現在、校区が広がったので、多くの子がバス通学です。今年度の児童数は138人とさらに減りましたが、歴史ある学校を子ども達・保護者や地域、行政の方々と一緒に守っていきます。

三角小学校の沿革について少し調べたので、一部を紹介します。約150年前、旧戸馳小学校（明治7年）、旧三角東小学校（明治7年に波多村波多校）、旧三角小学校（明治8年に郡浦小学校本村校）、旧三角北小（明治10年に大田尾小学校）、と多くの小学校が誕生しています。約150年前に全国に小学校が誕生した理由は、明治5年に学制が公布され、その1～5年後に誕生した学校が多いからです。それからさらに年月が過ぎ、平成17年4月に新生「三角小学校」となりました。現在、校区が広がったので、多くの子がバス通学です。今年度の児童数は138人とさらに減りましたが、歴史ある学校を子ども達・保護者や地域、行政の方々と一緒に守っていきます。

ありがとうございました！

令和7年度の授業参観・PTA総会・学級懇談会を4月28日（月）に行いました。午後は、天候にも恵まれ計画通りに実施できました。まず授業参観ですが、多くの保護者の方に参観いただきました。1年生の生活科では、朝顔の種を子供と保護者の方と一緒に植えました。



1年生 親子で種まき



6年生 グループ活動

他の学年も算数や国語など日頃の授業の様子を見ていただきました。私もこの1ヶ月、教室に足を運んでいます。

が、特別支援学級の子どもたちも、交流学級の子どもたちも落ち着いて授業に参加しています。授業が成立することは当たり前前のことです。この当たり前前を今後も各職員と子どもたちと一緒に継続していきます。次にPTA総会ですが、新旧役員の方々のスムーズな進行で滞りなく進めることができました。最後に各学級での学級懇談会。担任からの学級経営の方針や学校での子どもたちの様子の話があったかと思えます。平日でお仕事等お忙しい中で、たくさんの方に参加いただき、本当にありがとうございました！子どもたちは、保護者の方が来てくださりとても喜んでいました！



2年生 学級懇談会